

昭和45年度冬作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和45年度冬作関係（麦・いぐさ・水稻刈跡多年生雑草対象）除草剤の作用特性および適用性判定試験成績検討会が、去る8月30日、東京（薬業健保会館）において開催された。その結果の概要について紹介する。

1. 供試除草剤の動向

供試除草剤数について、対象別の傾向を示すと、第1表のとおりである。

2. 昭和45年度試験結果の概要

昭和45年度冬作関係に供試された薬剤数は全部で47薬剤であるが、その成分を示すと、第2表のとおりである。

これらの中で、除草効果・薬害等の面から有望であることが認められて、実用化および実用化とともに一部継続に移されることになったものは、第3表に示すとおり12薬剤である。

なお、このうち一部のものは、すでに前年度より実用化が認められていたが、これはさらに適用地帯・適用時期の拡大や効果の再確認等を目的としたものである。

実用化薬剤を対象別にみると、麦類5、いぐさ2、水稻刈取後マツバイ対象3、ウリカワ対象1、灌排水路（クリーク）1、薬剤である。

つぎに、実用化の認められた薬剤の使用基準を示すと、第4表のとおりである。

<第1表> 冬作関係除草剤試験供試薬剤数の推移

対 象	試 験 年 次 別 供 試 薬 剤 数							
	38	39	40	41	42	43	44	45
麦 類	45	30	25	13	7	9	8	11
な た ね	5	6	4	4	4	3	0	0
いぐさ（七鳥イ）	0	1	6	4	4	3	5	7
水稻刈取跡マツバイ	6	9	9	7	15	7	11	17
ミズガヤツリ	7	7	8	3	6	8	10	7
ヒ ル ム シ ロ	0	3	2	1	2	0	0	0
ク ロ グ ワ イ	0	0	1	0	0	1	1	0
ウ リ カ ワ	0	0	0	0	0	0	4	4
スズメノテッポウ	0	0	0	0	0	0	3	0
休 閑 田	0	0	1	6	0	0	0	0
そ の 他	24	32	20	12	1	1	1	1
計	87	88	76	50	39	32	43	47

＜第2表＞ 昭和45年度冬作関係除草剤供試薬剤成分一覧表

対 象	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社名
1) 麦 類	SW-7003	水和剤	尿素型 80%	三 共
	X - 5 2	水和剤	2,4-ジクロル-3 ¹ -メトキシ-4 ¹ -ニトロジフェニルエーテル 40%	X - 5 2 協 議 会
	CIPC・DCMU	水和剤	CIPC 35% DCMU 15%	丸 和 物 産
	A-3614	水和剤	CAT 4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-タートブチルアミノ- S-トリアジン 18% MCPA 28%	日本チバガイギー
	A-2079	水和剤	CAT 5% 2-メチルチオ-4-イソプロピルアミノ-(γ-メトキシプロピルアミノ) S-トリアジン 22.5%	日本チバガイギー
	NC-301	水和剤	PCP 73% リニュロン 5%	日本カーバイド工業
	B-3015・ プロメトリン	乳 剤	ベンチオカール 50% プロメトリン 5%	クミアイ化学工業 日 本 化 薬
	B-3015	乳 剤	ベンチオカール 50%	クミアイ化学工業
	F-1347	乳 剤	S-(2,5-ジクロルベンチル)-N,N-ジメチルチオールカーバメイト 40%	石 原 産 業
	CMPT (TO-2)	水和剤	5-クロル-4-メチル-2-プロピオンアミドチンール 50%	三 井 東 庄 化 学
	CP-23	乳 剤	2-クロル-N-(イソプロキシメチル)-2',6'-アセトキシリダイド 60%	三菱モンサント化成
2) い め 草	PCP・MCP・ DCBN	粒 剤	PCP-Ca 30% MCP-Na 0.8% DCBN 0.75%	トリサイド普及会 〔日本カーバイド〕 〔北 興 ・ 中 外〕
	X - 5 2	粒 剤	2,4-ジクロル-3 ¹ -メトキシ-4 ¹ -ニトロジフェニルエーテル 7%	X - 5 2 協 議 会
	S4159+ S5992	粒 剤	2,6-ジ第3グチル-4-メチルフェニル-N-メチル カーバメイト(S4159) 10% 2,4-ジクロル-4¹-ジシアノジフェニルエーテル(S5992) 8%	住 友 化 学
	シメトリン 1.5	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン 1.5%	ギ ー ボ ン 普 及 会
	シメトリン 2.5	粒 剤	同 上	同 上
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバメイト 15%	ス エ ッ プ 普 及 会
	トリフルラリン	粒 剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラートリジン 3%	塩 野 義 製 薬

対 象	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社名
3) 水稲刈取 後 ① マツバイ	NC-305	水和剤	トリアゾール系 56% 尿素系 27%	日本カーバイド工業
	NC-320	水和剤	トリアゾール系 60%	同 上
	NC-323	水和剤	有機酸系 85% 尿素系 3%	同 上
	PP-493	液 剤	3,5-ジクロロ-2,6-ジフルオロ-4-ハイドロキシビリジン 20%	I C I
	MT-102	水溶剤	モノクロル酢酸ナトリウム 95%	三井東圧化学
	D M P	粒 剤	DBN 1.44% MCPB 1.2% PCP 1.2%	兼 商
	SC-4202 (クロレート)	粉 剤	塩素酸ソーダ 70%	昭 和 電 工
	SC-4203 (クロレートK)	粉 剤	同 上 60%	同 上
	DCMU	水和剤	DCMU 78.5%	デュボンファースト
	ATA・DCMU	水和剤	DCMU 37.5% ATA 37.5%	丸 和 物 産
	MB-817	水和剤	フェノキシ系+尿素系 80%	同 上
	カリアールTD	水溶剤	2,4PA 88% ATA チオシアン酸アンモン	2,4-D 協議会
	PAD-100	水溶剤	2,4PA(Na) 30% DPA(Na) 50%	日本カーリット
	PAD-18	粒 剤	2,4PA(Na) 6% DPA(Na) 9%	同 上
	TD-29	粒 剤	2,4PA(Na) 6% TCA(Ca) 18%	同 上
	SLK-7011	微粒剤	—	石 原 産 業
	PCP, MCP, DCBN	粒 剤	PCP 30% MCP 0.8% DCBN 0.75%	トリサイド普及会 〔日本カーバイド〕 北 興 ・ 中 外
② ミズガヤ	MT-102	水溶剤	モノクロル酢酸ナトリウム 95%	三井東圧化学
	SC-4202 (クロレート)	粉 剤	塩素酸ソーダ 70%	昭 和 電 工
	SC-4203 (クロレートK)	粉 剤	塩素酸ソーダ 60%	同 上
	DCMU	水和剤	DCMU 78.5%	デュボン ファースト

対 象	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有量	委託会社名
③ ウリカワ (オモダカ)	MB-817	水和剤	{ フェノキシ系 尿素系 80%	丸 和 物 産
	ATA・DCMU	水和剤	{ ATA DCMU 37.5% 37.5%	石 原 産 業 丸 和 物 産
	TD-29	粒 剤	{ 2,4PA(Na) TCA(Ca) 6% 18%	日本カーリット
	A-1404	水和剤	2-メチルチオ-4-イソプロピルアミノ-6-(γ-メトキシ シプロピルアミノ)-S-トリアジン 25%	日本チバ・ガイギ
4) 灌排水路 (クリーク)	2,4PA・ATA	粒 剤	{ 2,4PA ATA 6% 3%	2,4-D 協 議 会
	2,4PA・ATA	水溶剤	{ 2,4PA ATA 60% 28%	同 上
	PP-493	液 剤	3,5-ジクロル-2,6-ジフルオロ-4-ハイドロキシピ リジン 20%	I C I
	HW-DP	微粒剤	{ DPA DCBN 10% 5%	保 土 谷 化 学 工 業

＜第3表＞ 昭和45年度冬作関係除草剤実用化判定表

区 分	実 用 化	実 ～ 続	継 続	継 ？	中 止
1) 麦 類	NC-301水和 B-3015乳 CMPT(TO-2)水和	B-3015・プロメトリン乳 F-1347乳	SW-7003水和 X-52水和 C1PC・DCMU水和 A-3614水和 A-2079水和 CP-23乳		
2) い ぐ さ	MCC粒	トリフルラリン粒	X-52粒 S4159-S5992粒 シメトリン2.5倍		PCP・MCP・DCBN粒 シメトリン1.5粒
3) 水稲刈取後 ① マツバイ		MT-102水溶 SC-4202粉 SC-4203粉	NC-305水和 NC-320水和 NC-323水和 ATA・DCMU水和 MB-817水和 カリアトールTD水溶 PAD-100水溶 PAD-18粒 TD-29粒 SLK-7011微粒 PCP・MCP・DCBN粒	DMP粒 DCMU水和	PP-493液
② ミズガヤツリ			MT-102水溶 SC-4202粉 SC-4203粉 MB-817水和 ATA・DCMU水和	DCMU水和	TD-29粒
③ ウリカワ (オモダカ)		2,4PA・ATA水溶	A-1404水和 2,4PA・ATA粒		
4) 灌排水路 (クリーク)		HW-DP微粒			

〔その他作用特性の説明〕

1 水稲刈取後 ウリカワ(オモダカ) PP-493液

＜第 4 表＞ 昭和 4 5 年度冬作関係除草剤実用化薬剤使用基準

区 分	除 草 剤 名	処 理 法	処 理 時 間	使用量 (製品)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
麦	NC-301 水和剤	土壌処理	播種直後 ～麦出芽前	100～150g/a	沖 積 壤土～埴土	関 東 以 南 水 田 裏 作	・ヤエムグラ・ホトケノザ優 占地帯の使用はさける
	B-3015・プロメ トリン乳剤	土壌処理	播種直後 ～麦出芽前	50g/a	壤土～埴土	関 東 以 南 水 田 裏 作	・播種深度が浅い場合または 砂土の場合は葉害がでること があるので注意する
	B-3015 乳剤	土壌処理	播種直後 ～麦出芽前	60～100g/a	壤土～埴土	関 東 以 南 水 田 裏 作	・イネ科地帯に限定する ・覆土は浅くしないように注 意する
	F-1347 乳剤	土壌処理	播種直後 ～麦出芽前	75～100g/a	埴土～壤土	関 東 以 南 水 田 裏 作	
	CMPT (TO-2) 水和	茎葉処理	(裸麦) スズメノテッポウ	60～80g/a	砂壤土 ～埴土	関 東 以 南	・小麦に準ずる
い め さ	MCC 粒剤	湛水処理	3 月下旬 ～ 4 月上旬	800g/a	壤土～埴土	全 域	・漏水田をさける ・ヒエの発生初期散布 ・均一に散布する ・前処理として 2 月下旬～3 月上旬に CDBN 500g/a 内外 を散布する
	トリフルラリン粒剤	湛水処理	3 月下旬 ～ 4 月中旬	400～600g/a	壤土～埴土	暖 地	同 上
水稲刈取後 ①マツバイ	MT-102 水溶剤	茎葉処理	水稲刈取後	500～1000 g/a	沖積埴壤土	暖地普通期 を除く地域	
	SC-4202 水溶剤	茎葉処理	水稲刈取後 10 日以内	800g/a	全 土 壤	寒冷地南部 の 1 毛作田 で地下水位 が低い地帯	・マツバイの枯草が始まるま でに散布 ・均一落水散布 ・連用はさけること
	SC-4203 粒剤	茎葉処理	水稲刈取後 10 日以内	900g/a	全 土 壤	寒冷地南部 の 1 毛作田 で地下水位 が低い地帯	・マツバイの枯草が始まるま でに散布 ・均一落水散布 ・連用はさける
②ウリカワ	2,4PA・ATA 水溶	茎葉処理	水稲刈取後 10 日以内	30g/a	全 土 壤	暖地、温暖 地の早期栽 培地帯	・落水均一散布 ・ウリカワの塊茎形成前に処 理する
灌排水路	HW-DP 微粒剤	茎葉処理	水稲刈取後	600g/a	限定しない	湿～乾燥し た不用水路	・周囲の禾本科作物・牧草 への飛散防止 ・毒性は少ないが直接水路に 散布するので、魚貝類採食し ない水路のみ